

## 第二号議案 2013 年度 JEA 事業計画

そこで、まず初めに、このことを勧めます。すべての人のために、また王とすべての高い地位にある人たちのために願い、祈り、とりなし、感謝がささげられるようにしなさい。

(テモテへの手紙 第一 2章1節)

今総会は2016年に開催が予定されている「第6回日本伝道会議(JCE6)」の開催地である神戸で行います。総会プログラムの中で地元の方々との交流、懇談の機会もあり、2016年に向けて良いステップになるように願っています。

2009年に札幌で開催された前回の第5回日本伝道会議(JCE5)では、青年プロジェクトから日本青年伝道会議のビジョンが提案され、それが昨年9月に「第1回日本青年伝道会議(NSD)」として実を結びました。これからの日本宣教を担う人たちへ期待と、若い人たちの力強い勢いを感じるようになりました。

東日本大震災から2年が経ちましたが、東日本の被災地の復興はなお長い道のりを必要としています。JEA 東日本大震災対策室による支援活動は、当初の予定を1年延長して2014年3月までを一つのめどに継続していきます。また日本福音同盟として次の大災害に備える態勢作りを進めると共に、地域教会の災害対応を助ける働きに続けて取り組みます。

東日本大震災が、私たち日本の教会にもたらした課題は大きく、多岐にわたっています。原発事故という不測の事態を受け、原子力利用について福音派の視点からどのように考えるべきかという課題に対して、神学委員会がブックレットを出版するにいたりました。また、災害からの復興支援活動を続ける中で、福音派の枠を超えたさまざまなキリスト教諸団体との協力関係も与えられつつあります。昨年に続き開催された「第2回東日本大震災国際神学シンポジウム」にも JEA として積極的に関わってきました。これは日本のキリスト教界の枠組みを拓く機会となっています。

現在の日本の状況は、なお危機の時代が続き、いよいよ深くなってきているように感じます。昨年末の衆議院議員選挙の結果として右傾化の兆しが顕著になってきたと言えるでしょう。直前に控えている参議院議員選挙の争点が憲法論議になることを政党指導者たちが声高に叫んでいます。日本海を挟んだ諸国との関係も戦後築いてきた平和的関係が危うくなっています。

このような社会状況にあって私たちキリスト者ができることは何か。日本福音同盟として何をするべきかということについて、上からの知恵をいただきながら賢明な行動ができるようにしたいと願っています。そのために会員諸団体の皆様の祈りと協力を期待しています。

何よりも私たちの主イエス・キリストが教会に託された福音の宣教と、とりなしの祈りという、最も力あるものを根幹にして、共に歩ませていただきたいと思います。

JEA 理事長 安藤能成

### 1. 東日本大震災からの復興支援と次の大災害に備える取り組み

#### (1) 東日本大震災からの復興支援

当初2年間としていた東日本大震災対策室の活動期間を2014年3月まで1年間延長し、引き続き東日本大震災対策室が中心となって進めていきます。震災後3年目となる2013年度は、中長期の継続的な支援につながる働き、教会から教会への理念に基づく援助を続けていく方針です。特に終わりの見えない放射能被害の中にある福島県キリスト教連絡会(FCC)のこども保養プロジェクトは、今後4年間継続して支援できるよう計画しています。

#### (2) 次の大災害に備える取り組み

首都直下地震、南海トラフ巨大地震、富士山噴火などの大災害が予測されている中、災害対応は日本のすべての教会の課題であり、地域社会との接点を作り、地域の教会協力を促進するきっかけにもなります。そのような意味で、東日本の被災地で学ばれている包括的な福音宣教の実践の一つとして、教会の災害対応準備は他の地域でも活かされていくであろうと考えます。

2012年度に引き続き、援助協力委員会のもと、DRCnet をプラットフォームとして、ホィートン大学人道的災害支援研究所(HDI)などとの協力により、災害対応チャプレン養成プログラム、地域教会の災害対応支援プロジェクト(首都圏災害対応プロジェクト)を進めます。また総務局の災害対応(水、食料の備蓄、事務機能の

クラウド化など)を進めると共に、理事会のもとに常設の災害対策室を設置することとし(2013年度は東日本大震災対策室と兼任)、東日本地区、西日本地区それぞれで災害時の初動態勢を整えます。

## **2. 第6回日本伝道会議(JCE6)に向けた取り組み**

昨年6月の第27回JEA総会で第6回日本伝道会議を神戸で開催することが決議されました。これを受けて7月にJCE6実行委員会が発足し、開催地からの代表者と共に準備を進めてきました。今年6月のJEA総会に合わせて神戸の開催地委員会も立ち上げられる予定です。2013年度は、実行委員会と開催地委員会が連携しながら、JCE6のテーマ、理念、プログラムの策定を進めていきます。

昨年10月の宣教フォーラム・仙台では、「震災で問われた まるごとの(ホーリスティックな)福音」というテーマのもと、東日本大震災からの救援・復興活動を通じて、日本の福音的諸教会が学んでいること、与えられているチャレンジなどについて共に考えることができました。それらの課題は、2010年の第3回ローザンヌ世界宣教会議で採択されたケープタウン決意表明にあげられている世界宣教の課題と共通するものであり、JCE6のテーマにつながるものと考えています。11月の専門委員会委員長と日本ローザンヌ委員会によるテーマ懇談会、2月のJCE5プロジェクトリーダーによるテーマ懇談会の内容を踏まえ、今年のJEA総会でJCE6のテーマに関するフォーラムを開催します。

### 第6回日本伝道会議(JCE6)概要

- ・日程:2016年9月27日(火)～30日(金)
- ・場所:神戸コンベンションセンター

## **3. アジアおよび世界の教会との連帯と具体的な協力の業**

日本福音同盟(JEA)はアジア福音同盟(AEA)と世界福音同盟(WEA)に加盟し、アジア地域および世界の福音的諸教会との協力関係を結びつつ、教会の宣教の業に参加しています。

WEA総会(2014年10月18日～27日、韓国ソウル市)に合わせて、「教会の災害対応」に焦点をあてた新たなミニストリーを立ち上げる計画が進んでいます。東日本大震災後、JEAとの共同プロジェクトを進めているホートン大学人道的災害支援研究所(HDI)が中心となり、国際的な救援団体ネットワークであるマイカ・ネットワークなどが協力して、今年6月4日～8日に米国シカゴ市で「教会の災害対応支援」国際会議、9月16日～20日にフィリピン国マニラ市でアジアレベルの会議、2014年はじめに日本での会議を重ねていく計画です。日本での会議の詳細はまだ未定ですが、昨年から続けられている東日本大震災国際神学シンポジウム(DRCnet、聖学院大学、東京基督教大学主催、フラー神学大学院共催)と連携することも可能性としてあがっています。

AEA関係では、今年10月のWCC総会(韓国プサン市)に向けて、アジアの福音派としての神学的発信をするために、2013年8月20日～22日、タイ国バンコク市で「三位一体の神:創造、教会、終末」をテーマにアジア教会会議が開かれる予定です。ローザンヌ世界宣教会議関係では、2013年6月17日～21日、インド国バンガロール市で国際リーダー会議が開催されます。

韓国教会との関係においては、異端問題に端を発する韓国基督教総連合会(CCK)の分裂など困難な状況にありますが、韓国福音主義協議会(KEF)などとの交流を含め状況に応じた対応を模索していきます。

## **4. 各専門委員会による2013年度活動計画**

今年度、各専門委員会が計画している主な活動は以下の通り。

### **A. 宣教委員会**

#### 1) 「宣教フォーラム・福島」開催

日時:2013年11月18日(月)～19日(火)

場所:福島県郡山市ビッグパレットふくしま

テーマ:「フクシマと生きる宣教」

内容:東日本大震災から日本宣教の課題を考察するのは、秋田、仙台から継続されるテーマである。福島の場合は「放射能汚染」という重いテーマが加わり、「分断」ということばで表現される事態が様々な局面に現われる。「放射能」の問題の背景には複雑に絡み合った日本社会の「深層」が存在する。福島の教会と課題と戦い、また喜びを共有していきたい。

#### 2) ディアスポラネットワーク、JOMAなどと連携しながらグローバルな宣教の課題に取り組む。

## B. 援助協力委員会

- 1) 東日本大震災対策室(活動期間を1年間延長して2014年3月まで活動)と連携し、引き続き救援・復興活動に協力する。
- 2) 長年協力関係にあるワールド・リリーフおよび米国ホートン大学人道的災害支援研究所(HDI)との共同プロジェクトとして、救世軍、DRC ネット、クラッシュ・ジャパンなどと協力しながら取り組んでいる、災害対応チャプレン養成プログラムと地域教会の災害対応支援プロジェクトを継続させる。東日本大震災の被災地域だけでなく、今後、地震などの災害発生が予測されている首都圏、東海、関西などの諸地域の教会ネットワークと協力していきたい。
- 3) 国内外からの支援金の管理を行う。
- 4) 援助協力ニュースを、JEA ニュースに組み込む形で発行する。
- 5) 委員長人事の交代を行い、新委員長のもとで、次世代に向けての取り組みを進める。

## C. 神学委員会

- 1) 「宗教と科学」のテーマを「キリスト教と科学」に変更し、研究を継続する。
- 2) 原発ブックレットを活用し、各団体での学習活動などに貢献する。
- 3) 日本伝道会議のテーマや準備に関する検討を継続して行う。

## D. 社会委員会

- 1) 「憲法を変えさせない緊急祈祷会」の開催。  
日時:2013年7月12日(金)午後7~9時  
会場:OCCビル411号室
- 2) 第25回信教の自由セミナーの開催。  
日時は2013年10月31日(木)午後6時半~8時半を予定。  
内容は憲法改定問題とキリスト者について、講師は検討中。
- 3) 信教の自由セミナー報告書の発行。
- 4) 憲法改定問題、君が代強制問題について教派を超えた連帯を行う。

## E. 女性委員会

- 1) 第11回「心のオアシスリトリート」に向けての、リトリート委員会の立ち上げと企画準備。
- 2) 宣教フォーラムに女性委員会が企画から参加協力できる体制づくり。
- 3) AEA 女性委員会主催の大会(インドネシア)への女性委員の参加によるAEA/WEAとの交流。
- 4) 各専門委員会への女性オブザーバー参加によって、共に宣教の課題に参与する。
- 5) 継続活動
  - ・「流れのほとり」発行。
  - ・女性委員会情報サイトの更新。
  - ・フィリピン福音同盟(PCEC)とアジア福音同盟(AEA)女性委員会との交流。

## F. 青年委員会

- 1) 第7回青年宣教セミナーの開催。  
日時:2013年5月20日(月)~21日(火)  
会場:奥多摩バイブルシャレー  
テーマ:「チームワークでするミニストリー ひとりじゃできない青年伝道」  
講師:岡村直樹師(東京基督教大学教授、日本同盟基督教団神学教師)
- 2) NSD プロジェクトの立ち上げ。
  - ・青年委員会のもとで、NSD 実行委員会関係者を中心に青年宣教関係者ネットワークの継続を目的として活動していく。2013年9月2日(月)にOCCでNSDセミナー開催予定。
- 3) NSD 記録集の発行。